

憧憬



大学院医学工学総合教育部
生命工学専攻1年

イコマ コウダイ
生駒 航大

大村智先生、ノーベル医学・生理学賞受賞おめでとうございます。

私が大村先生を知ったのは学部3年生の時でした。年間2億人もの命を救い、次期ノーベル賞候補と言われていた偉大な化学者の講演会に参加した時です。オンコセルカ症という発展途上国で失明の主要な原因となっている感染症に効く薬を開発し、無償配布することにより、多くの未来ある人々の命を救った話を聞いて心底感動したことを今でも覚えています。私も大村先生のように多くの人を救いたいと思い、大村先生が研究されていた放線菌の道に進むことを決めました。大村先生は研究だけでなく芸術や文学にも長けており、様々な素晴らしい言葉を残しています。その中でも「世の中の人々の為に何が出来るかを優先し厭わず行動する」という言葉に感銘を受けました。この大村先生の言葉を心に留め、研究に一生懸命取り組みたいと思います。

人のためになることを



医学部
医学科4年

フルヤ サトシ
古谷 智

大村先生のノーベル医学・生理学賞受賞、誠におめでとうございます。

医学部にある図書館でも特別展示が行われており、大村先生の業績や研究内容の説明に加え、過去の写真や大村先生の卒業論文の一部写しなど、なかなか見ることが出来ない展示もあります。

展示をみて、菌からの化学物質スクリーニング、エバーメクチンをはじめ多くの有用な物質の発見、数億の命を救ったこと、改めて大村先生の偉大さを感じました。そして展示の最後に、オンコセルカ症がかつて蔓延していた地で大村先生と現地の子どもたちが一緒に写っている写真があります。大村先生が御来学なさったとき、「現地の子どもたちと会って、この子どもたちはもうオンコセルカ症で失明しない、そう思っていた良いことをしたと思った。」とおっしゃっていたことが印象に残っています。私たち学生も、これから人のためになることが出来るような人間になるよう、努力していきたいと思います。



館報「やまなし」の由来：図書館報「やまなし」は山梨県、山梨大学の「山梨」と、樹木の「ヤマナシ」にかけています。図書館の西側に大きなヤマナシの木があり、今でもたくさん実をつけます。みんなが育てて喜ばれる図書館になるようにという願いがこめられています。

学外の方への利用案内

本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できます。詳細については、<http://lib.yamanashi.ac.jp/>をご覧ください。本館 Tel:055-220-8066（情報サービスグループ）、医学分館 Tel:055-273-9357（医学情報グループ）にお問い合わせください。



山梨大学附属図書館報
「やまなし」
第13巻 特別号
2016年1月15日 発行
編集：館報編集委員会
発行：山梨大学附属図書館
〒400-8510
甲府市武田四丁目4-37
TEL 055-220-8063

● 表紙：大村先生図書館来館風景
場所：本館2F常設展示室（山梨大学職員 撮影）